新 Web ムービー『地上の話 地下の話』の公開について
～あたりまえの日常と地層処分（最終処分）のつながり～

2025 年 2 月 7 日
電気事業連合会

電気事業連合会は、本日、高レベル放射性廃棄物の「地層処分（最終処分）」に関する新 Web ムービー「地上の話 地下の話」を公開いたしました。（公式ホームページや YouTube アカウント等で公開）

地上の話 地下の話

本ムービーは、原子力発電所で使い終えた使用済み燃料を再処理した際に発生する高レベル放射性廃棄物の地層処分をテーマにしています。

一人の女性（インテリアデザイナー）が電気を使いながら生きる日常（地上）と、世界や日本で進められている高レベル放射性廃棄物の地層処分の取り組み（地下）を一緒にご覧いただくことで、２つの物事が、決して遠い世界の話ではなく、しっかりとつながっているものである、ということを伝える内容としています。

高レベル放射性廃棄物は、これまでの原子力発電の活用に伴い、既に日本にも存在しています。一方、地層処分する場所はまだ決定していません。処分地選定に向けては、現在、北海道の寿都町、神恵内村、佐賀県の玄海町で調査が進められていますが、一部の自治体に留まらず、日本全国で考えていく必要がある課題です。

私ども電気事業者としても、高レベル放射性廃棄物の最終処分について、国や原子力発電環境整備機構（NUMO）と連携を図りながら、地域の皆さまへの情報発信や対話活動等を通じて、できるだけ多くの方々のご関心やご理解が深まるよう、引き続き取り組んでまいります。

本ムービーを是非ご覧いただき、地層処分について、より身近に、“自分ごと”として感じていただくとともに、処分地の選定について一緒に考えていただきたいとの想いを込めています。

「いっしょに考えよう　地層処分」。

＜参考＞

電気事業連合会ホームページ特設サイト「高レベル放射性廃棄物の地層処分って？」

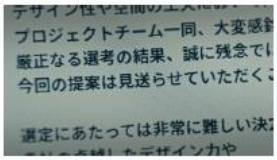
https://www.fepc.or.jp/sp/chisoushobun_faq/

以　上

（別　紙）

■〔地層処分Web動画〕(120秒)ストーリーボード

女性
「・・はい
そこが良くなかったと。」



女性
「あ、でも・・・私としては
あれ？」

NA：
電気はあって当たり前。
ふだんそう思って
暮らしているけれど
実は、そうでもないらしい。

日本は、
エネルギー資源の多くを、
海外に頼っている。

電力を安定して供給するには、
原子力発電を含め、電源を
バランスよく活用することが
欠かせない。

原子力発電では、
使用した燃料を再処理工場で
リサイクルした後に
「高レベル放射性廃棄物」が
発生する。

その処分方法として
選択されたのが、地層処分だ。

地層処分は、
何重もの「人工のバリア」と
「天然のバリア」を
組み合わせて、
廃棄物を地下深くに隔離し
閉じ込める処分方法。

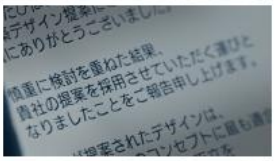
国際的に最も安全で、
実現可能な方法とされている。

NA：
海外では、フィンランドで
処分地が決定し、
取り組みが進むなど、
処分する技術は
すでに確立されている。

日本でも、
処分地の選定に向けた調査が
慎重に進められている。
地域の発展にも関わる
大切なことだ。

女性
「続いてはロビーラウンジの
デザインについてです。
モダンな高級感と
波のような曲線が特徴的な…」

NA：
地層処分。それは、遠く離れた
どこかの誰かの話じゃない。
電気を使って
生きる私たちの日常と、
地続きの問題なんだ。



女性
「え？」

NA：
これからも、
あたりまえの日々を
続けていくために。

いっしょに考えよう。
地層処分。

電気事業連合会